

## ボールパーク構想調査特別委員会（要点筆記）

令和7年9月5日（金）  
午前9時30分 開議

### ○委員長（山本裕介）

ただいまからボールパーク構想調査特別委員会を開催します。

本日は、中村和也委員から、新型コロナウイルス感染症に罹患されたことにより、「オンラインによる委員会届出書」が提出されています。傷病などの「その他やむを得ない理由」により、オンラインでの委員会出席を希望する場合は、「半田市議会オンラインによる方法を活用した委員会等運営要綱」に基づき、委員会に諮ることとされています。つきましては、中村和也委員のオンラインによる委員会出席を許可することに賛成の方は、挙手をお願いします。

#### 【挙手全員】

挙手全員です。よって、中村和也委員のオンライン委員会の出席を許可します。  
暫く休憩します。

午前9時31分 休憩  
（中村和也委員がオンライン会議に入室）  
午前9時32分 再開

### ○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

オンライン会議の運用について、皆さんにお諮りする案件がある場合は挙手にて確認を行います。オンライン出席の中村委員は、賛成の意思が明確に判別できるよう、指先を上にした手のひら全体が映像に映るように挙手をしてください。

協議題1. 調査事項について、（1）委員会の方向性についてを行います。

前回の委員会では、私から、近年、アーバンスポーツなどの個人競技や新しいスポーツが広がりを見せ、競技そのものだけでなく観戦や仲間との楽しみ方も多様化する中で、誰もが関われる場を整える必要があり、「ボールパーク構想調査」に至ったとお伝えしました。周辺施設と一体となった活用を想定し、市民の賑わいを育む多目的な公共空間となることを期待すると同時に、まちづくりという観点からボールパーク構想を捉え、20年、30年後においても選ばれるまちとしての価値を高めていくための取組として調査を進めていきたい旨を説明させていただきました。

委員の皆さまからは主に、

- ・ 競技スポーツだけでなく、市民の健康づくりや観戦スポーツも含めた総合的な視点が必要である。
- ・ 既存の体育館建設計画との整合性はどのようにするのか。
- ・ 財政状況が厳しい中でも、一定の投資は必要であり、PFIなど民間活力の活用も視野

に入れるべきだ。などのご意見をいただきました。

前回の委員会での議論や正副委員長での整理を踏まえ、当委員会の方向性について次の4点を柱として進めていきたいと考えています。

1点目、ボールパークを単なるスポーツ施設としてではなく、まちづくりの核として位置付ける。これは、球場イコール観戦施設ではなく、商業、文化、教育、健康、観光などを巻き込んだ都市機能の拠点にするという視点です。ただし、当委員会が示すボールパークは、球場に限らず、多目的な競技ができるスポーツパークの視点を持って進めたいと思います。

2点目、20年、30年後の未来のまちの姿を見据え、スポーツの多様性と都市の魅力を両立させるボールパーク整備について調査・研究を進める。これは、現在のニーズだけでなく将来人口構造・ライフスタイルの変化を踏まえ、野球以外の活用、イベント、健康増進などスポーツの多様性とまちの魅力をどう両立させるかを探る考えです。

3点目、未来の半田を見据え、中長期的な視点を持った計画の策定を目指す。これは短期的なイベント誘致や箱モノ整備ではなく、「まちの成長戦略」とリンクさせるという視点です。また、財政持続性や地域経済効果も含めた長期計画を目指すという視点もあります。

4点目として、行政・市民・企業・競技団体など多様な主体と共創する「スポーツコミッション」の視点を取り入れ、施設整備とあわせてソフト面での仕組みづくりを進め、まち全体で育てるボールパークとする。これは、「ハード（施設整備）」だけでなく「ソフト（運営・仕組み）」の部分も必要だという視点です。

以上のことについて、ご意見がありましたらお願いします。

○伊藤正興委員

「スポーツコミッション」の定義について教えてください。

○委員長（山本裕介）

スポーツコミッションは、スポーツ庁が推進をしているもので、地方公共団体、スポーツ団体、商工団体等が一体となり、スポーツによる地域振興や観光誘客に取り組む組織の総称です。当委員会においては、ハード（施設）を運用していく上でのソフト面の組織体・考え方として捉えています。

○山田清一委員

現在進んでいる新総合体育館の建設計画等との整合性はどのようになりますか。後追いの提言にならないか懸念しています。

○企画部長（大木康敬）

新体育館の場所等は既に決まっており、ハード面での変更は難しいと思います。しかし、スポーツコミッションという運用面の提言であれば、新しい体育館への誘致や民間連携など、将来的な活用に繋げることが可能であると考えます。

○委員長（山本裕介）

しばらく休憩します。

午後 9時40分 休憩

午後10時20分 再開

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

休憩中の協議において、

- ・ハード（施設）ありきではなく、まちづくりのために必要な制度やソフトを重視すべきだが、ハード面についても提言できる形は残しておくべきである。
- ・既存施設を有効に利用するためのソフト面（運用）を大目標に掲げるべきである。
- ・ソフト面を上位に位置付けるよう、方向性の4点目の文言を整理する必要がある。
- ・新総合体育館などの既存計画を一つの道具として捉え、それらを活用してどうまちづくりを行うかという構想を練るべきである。
- ・若者のニーズや多様化するスポーツ種目への対応、将来の人口減少でのまちの魅力向上は重要な課題である。強みである地域スポーツクラブの枠組みに、観光や商工の視点を加えた「地域スポーツコミッション」のようなハブとなる組織の視点を重視すべきである。

などのご意見をいただきました。

これらの意見を踏まえ、当委員会の方向性の4点目について「施設整備とあわせてソフト面での仕組みづくりを進める」を「施設整備並びにソフト面での仕組みづくりを進める」と修正します。当委員会の方向性をこの4つの柱で進めることに賛成の方の挙手をお願いします。

【挙手全員】

挙手全員です。それでは、この方向性で調査を進めてまいります。

次に、（2）行政視察についてを行います。

行政視察の候補地の選定にあたり、先ほどの方向性で議論のあった、ハード・ソフトの両面、特にスポーツコミッションの先進事例を調査対象としたいと考えています。現在、候補として挙げている視察先について説明します。

しばらく休憩します。

午後10時30分 休憩

午後10時42分 再開

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

休憩中の協議において、

- ・視察は半田市が目指すモデルに近い場所を精査する必要がある。
- ・単に施設を見るだけでなく、スポーツコミッションという組織がどのように中心となって地域を運営しているかなど、その仕組みを学べる所を視察すべきである。

などのご意見をいただきました。他に何かありましたらお願いします。

○副委員長（澤田勝）

視察候補地は、スポーツコミッションが組織の中心的な役割として機能しているところを選定していきたいと思えます。視察を通じて、これらの組織がどのように運営されているかを実際に確認することは、当委員会の今後の提言において非常に重要であると

考えます。

○新美保博委員

視察先がどのような背景でその構想を進めているのか、半田市との共通点や相違点を確認したうえで決定してください。

○委員長（山本裕介）

承知しました。視察は2つの候補日のうちの2日間の日程で行います。視察先は正副委員長で調整を進めることに賛成の方の挙手をお願いします。

【挙手全員】

挙手全員です。

それでは、視察先については正副委員長で最終調整を行い、後日改めて報告させていただきます。

次に、(3) その他を行います。

次回3回目の委員会は10月2日（木）となります。ご予定ください。

また、視察先質問事項の協議および視察前の確認を行うための委員会を、11月17日（月）午前9時30分から、12月17日（水）全員協議会終了後から行います。ご予定ください。

その他、何かある方はいますか。

ないようですので、以上で、ボールパーク構想調査特別委員会を終わります。

午前10時44分 散会